

事業名	博物館活動の充実①(美術自然史館・こども科学館)	評価実施者	所 属 美術自然史館 職・氏名 副館長・中塚智勝
-----	--------------------------	-------	-----------------------------

主要事業の概要	開始年度	根拠法令等 博物館法、文化芸術振興基本法、科学技術基本法ほか				
	実施方法	☒ 直接 ☐ 委託 ☐ 特定財源 ☐ 一般財源 ☐ 補助金等 ☐ 負担金				
	目 的	芸術文化の創造活動、そして地球と生命を学ぶ拠点である「美術自然史館」、こどもの科学する心を育む拠点である「こども科学館」を活性化することで、新たな経済的・社会的価値を創出し、「創造文化のまち」の実現と教育・文化力の向上を図る。特に何度も博物館に足を運び、博物館活動に理解を深めてもらうための工夫や取り組みに重点を置いた。				
	事業内容	・芸術鑑賞事業:企画展(4回)、ロビーコンサート7回 ・芸術体験事業:講座、ワークショップ等 ・成果発表の場の提供:貸館8件 ・科学する心を育む活動:科学実験(4回)、科学工作(4回)、科学教室(1回)、出前講座(3回) ・博物館くらぶ:会員111人、オリジナル事業2回、市民運営委員会3回 ・年間バスポート(3年目)				

事業費	区 分	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	特 記 事 項
	事業費(千円)	40,024	44,954	28,750	34,767	27,616	
	うち一般財源	34,989	37,601	23,670	26,675	21,843	

目標と実績	区 分		単位	H19	H20	H21	H22	H23	実績の評価
	1	入館者数	目標				30,000	30,000	
			実績	人	26,437	34,108	29,918	28,892	企画展の入館者数は増えたが、学校等の団体入館者は減少した。原因としては、天候次第の雨プランのキャンセルが多かった事が考えられる。
	2	入館料金	目標				3,543	4,000	化石展やダビンチ展などの企画展開催時での、年パス購入による入場者数増え増につながった。
			実績	千円	3,674	3,407	3,683	4,035	
	3	パスポートの発行数	目標				1,000	1,300	同上
			実績	枚		487	749	1,085	
	4	パスポートリピート数	目標				1,500	1,500	市外の購入者が多く、再館には結びつかなかったものとする。
			実績	回		554	1,094	855	

評価項目	点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察									
1 必要性	8	市民ニーズや社会情勢に適合しているか									
		実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)									
		滝川市にゆかりの作家の作品・資料を収集・保存して後世に伝える。それらを調査・研究し、その成果を市民や来館者に普及することで「地域の大切なもの」を伝える。また、展覧会等を通じて、優れた美術作品を鑑賞する機会を作り、市民の教養を高める。画像等による疑似体験ではなく、目の前で行われる科学実験など、五感で学ぶ実体験を通じて、科学する心を育み、子どもたちに生きるための知恵を身につける取り組みを行う。									
2 有効性	7	目的に照らして効果的な手法であるか									
		結果が十分に上がっているか									
		子どもたちに人気のある化石展など魅力ある企画展を開催すれば親子連れをはじめとする多くの入場者数が期待できるが、公の館としては様々な分野の展示(活動)を行う必要があり、今後さらに博物館活動への関心を高めていく取り組みが必要である。こども科学館は冬春休みで実施した工作教室などに多くの子どもたちが参加した。毎日短時間でも長期間の開催が入館者の増につながる。									
3 効率性	4	費用と成果のバランスは適正か									
		導入3年目の年間パスポート発行効果などで、入館料を増加することが出来た。また、経費のかかる企画展には、補助金を有効に活用することで、効率的な博物館の運営が出来た。									

総合評価	合計	19	ランク	事業の今後の方向性	事業の継続を行い、より市民に親しまれる博物館活動を行う。また、博物館くらぶや専門性の高い団体との連携を継続する中で事業内容の拡充に努める。さらに、情報提供の充実を図り、博物館としての話題性を高めることにより、これまで美術自然史館やこども科学館を訪れたことのない人へアピールを図る。特に、学校等に直接DM等による来館の呼び掛けを行うなど入館者増へつながる仕掛けを行っていききたい。 ☒ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持
	100点換算	76	B		

【評価点数】

5 : 十分できている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

 A : 86点以上
 B : 71～85点
 C : 56～70点
 D : 41～55点
 E : 40点以下

 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

評価項目	点数	判 定					点検・評価に関するコメント				
1 必要性	8	①	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	・引き続き適切に行って頂きたい。			
		②	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1				
2 有効性	7	③	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1				
		④	☐ 5	☐ 4	☒ 3	☐ 2	☐ 1				
3 効率性	4	⑤	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1				
		合計	19	100点換算	76	ランク	B				